

栃木市は歴史的な街並みが残る「蔵の街」として知られています。また「三轟山」「巴波川」「渡良瀬遊水地」などの豊かな自然や、米・いちご・ぶどうをはじめとするいろいろな農産物を生産する農業地帯など、多くの魅力にあふれています。

先人たちは、遠い昔から力を合わせて山野を切り拓いて農作物をつくり、知恵を出して産業をおこし、たゆみない努力と工夫を重ねながら地域文化をつくり、現在の栃木市の礎を築いてきました。そんなわたしたちが住む栃木市は、どのようにしてできたのでしょうか。

ここでは、昔の栃木市にどんな人たちが暮らし、どんな活動をして、どうやってまちをつくってきたのか、その歴史をわかりやすく紹介しています。時代が目まぐるしく変化する今日、栃木市が歩んできた歴史を学ぶことで、あらためて私たちの市に愛着をもつとともに、先人たちがつくった歴史や文化をどう未来につないでいくのか、そして私たちがこれから栃木市をどんなまちにしていきたいのか、考える参考になればうれしいです。

もくじ

はじめに	02
歴史年表	日本と栃木市の出来事	04
縄文時代	大昔の栃木市には海があった!?	06
弥生～古墳時代	市内に残る古墳から見えてきた有力者の誕生	08
奈良～平安時代	1300年前に「下野国府」が栃木市にあった!	10
鎌倉～安土桃山時代	有力武士が戦いをくり広げた下野国の戦国	12
江戸時代	人と物の往来でにぎわった江戸時代	14
近現代① 明治～昭和初期	文明開化から急速に近代化	16
近現代② 戦後～現代	歴史と自然が共存する栃木市へ	18
資料	栃木市にある貴重なたからもの	20

栃木市の歴史を理解するために知っておきたいこと

●位置

栃木県の南部に位置しています。市の西側は茨城県古河市、埼玉県加須市、群馬県板倉町とつながり、3つの県の境(栃木・群馬・埼玉)が平地にあるめずらしい地域です。

●地形

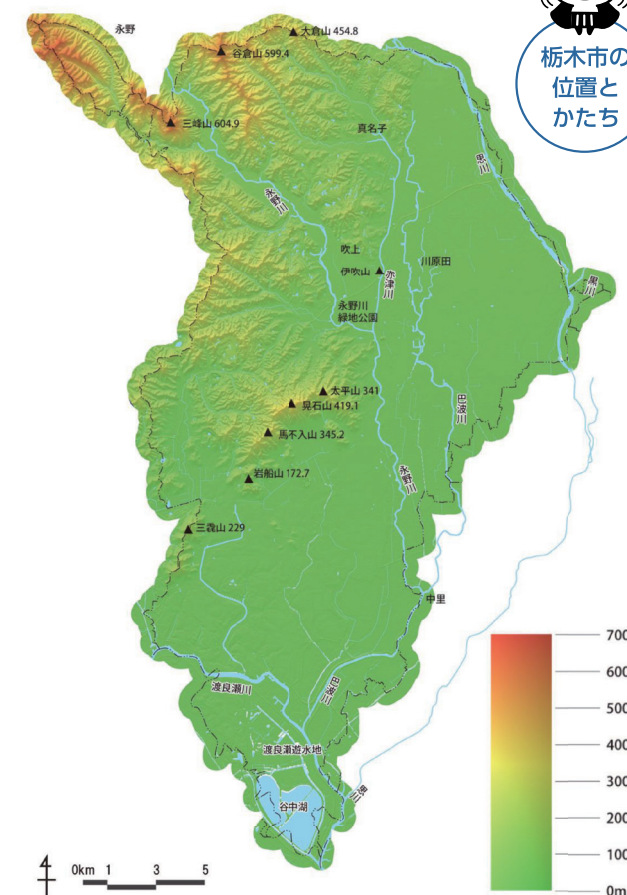
大部分が関東平野の一部となる平地で、北西部のみ足尾山地に続く丘陵地(山地と平地との中間的な地形)になっています。

●山地

北部の山岳地帯には、大倉山、谷倉山、三峰山などの山々がそびえ、中央から西部には、太平山、岩船山、晃石山、馬不入山、三轟山などの山々が連なっています。

●河川

市内には思川、渡良瀬川、永野川、巴波川、赤津川などの河川が流れています。



栃木市の位置と
かたち

今の栃木市になるまで

